



# 稲毛区支え合いのまち推進計画

第4期稲毛区地域福祉計画 平成30(2018)～32(2020)年度



## 1 基本目標

### みんなで支え合い、安心して暮らせる<sup>まち</sup>稲毛をめざして － 心のバリアフリーから始まる“地域発”の取組み －

この基本目標は、稲毛区の目指すべき将来像です。

第1期計画を策定するときに掲げたもので、以来、第2期計画、第3期計画と引き継いできました。

今回策定した第4期計画においても、近年、家族や地域で支え合う機能が弱まり、身近な地域での交流や住民同士の結びつきが希薄化している状況に鑑み、引き継ぐこととしました。

## 2 5つの基本方針

基本目標を達成するための5つの基本方針も、これまでの計画のものを引き継いでいますが、内容は、昨今、地域でも喫緊の課題である地域包括ケアシステムの推進を意識したものとしました。

### 《基本方針1》 地域に住む人々が、お互いを知り、理解することから始めよう

住民同士が互いに気持ちを理解し、それぞれの声に耳を傾け、関心を持ち、顔見知りの関係づくりを図るために、地域内や近隣住民同士のあいさつ・声かけなどに取り組みます。

また、幅広い世代にイベントなどへの参加促進を図り、顔見知りのきっかけづくりに取り組みます。

### 《基本方針2》 人と人とのつながりをつくり、活かし、支え合い助け合う地域での連携プレー

地域の各種団体が相互に連携・協力するほか、千葉市あんしんケアセンターなどと連携し、住民同士がつながり、互いに支え合う地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。

また、様々な地域活動の機会などを通じて活動に参加できる人材の確保・育成に努めるとともに、地域住民に対して様々な課題を抱えた方を地域で排除しない福祉のこころづくりに取り組みます。

### 《基本方針3》 「気軽に、楽しく、おしゃべりしたり、過ごせたり、活動したり」 する、みんなの様々な居場所づくり

公共施設や町内自治会館、福祉施設等の協力を得て、誰もが気軽に参加できる身近な交流の場づくりに取り組みます。

また、様々な交流の場を通じて住民同士の仲間づくりや心身の健康づくり・介護予防に取り組みなど、地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。

千葉市

## 《基本方針4》 身近なところで必要な情報を得ることができる仕組みづくり

地区部会をはじめ町内自治会など各種地域団体が相互に連携・協力し、情報を共有するとともに、地域住民に対して広報紙等を通じて情報提供に取り組みます。

また、地域の各種団体が、千葉市あんしんケアセンターや民生委員・児童委員、行政などと連携・協力し、相談の体制の充実に取り組みます。

## 《基本方針5》 日頃からの緊急時に備えた取組み

災害時に備え、町内自治会等が中心になって、地域住民に対して防災に関する情報提供や防災訓練などを行うとともに、要支援者に対する支援体制づくりに取り組みます。

また、平常時から町内自治会等が警察や青少年育成委員会などと連携・協力し、地域内の防犯意識を高め、安全・安心のまちづくりに取り組みます。

### 3 取組内容一覧

#### 《基本方針1》 地域に住む人々が、お互いを知り、理解することから始めよう

施策の方向性		具体的な取組み		取組み テーマ
(1)	お互いを知る機会をつくる	①	<b>あいさつから始まる地域との関わり</b> 《活動事例》 ・地区部会や青少年育成委員会等が学校と連携・協力し、あいさつをテーマにした標語の募集を行うとともに、広報紙などを通じてあいさつ運動の普及啓発に取り組みます。 ・学校セーフティウォッチャーを中心に、地区部会や町内自治会などが協力し、児童・生徒の登下校時に通学路や学校周辺においてあいさつ運動を実施し、顔なじみの関係づくりに取り組みます。 ・地区部会や町内自治会、各種団体がイベント・行事や防犯パトロールなどの地域活動を行う際、積極的に住民同士のあいさつ・声かけを行い、顔なじみの関係づくりに取り組みます。	⑨
			<b>重点取組地区 (地区部会エリア)</b> ○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○稲丘地区部会 ○緑が丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会	
(2)	住民同士のコミュニケーションの機会を増やす	②	<b>地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流</b> 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（祭りや地区運動会、敬老会など）を通じて、幅広い世代間交流を図ります。 ・地域の各種団体が相互に連携・協力し、広報紙や口コミ等を通じて幅広い世代の参加促進を図ります。	⑨
			<b>重点取組地区 (地区部会エリア)</b> ○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会 ○弥生地区部会	

## 《基本方針2》 人と人とのつながりをつくり、活かし、支え合い助け合う 地域での連携プレー

施策の方向性		具体的な取組み		取組み テーマ
(1)	身近な地域での 連携・協力による 支援や見守り	③	<b>地域で活動している人・組織同士の連携・協力</b> 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、スポーツ振興会等、地域の各種団体が相互に連携・協力し、情報の共有やイベントなどを実施します。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等の各種地域関係者が、千葉市あんしんケアセンターと連携・協力し、地域の課題解決に向けて話し合う「地域ケア会議」等を定期的開催します。 重点取組地区 (地区部会エリア) ○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○緑が丘地区部会	9 10
		④	<b>地域住民の参加による見守り・支え合い</b> 《活動事例》 ・地区部会が町内自治会や民生委員児童委員協議会等と連携・協力し、ひとり暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンや日常的な声かけなどによる安否確認等を行うなど、見守り活動の体制づくりを進めます。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等が連携・協力し、日常生活のちょっとした困りごと（電球交換やごみ出し等）を近隣の住民同士で行う、支え合い活動の体制づくりを進めます。 ・地区部会や民生委員児童委員協議会などが連携・協力し、ひとり暮らし高齢者等に対して「安心カード」や「緊急医療情報キット」などを配布し、住民同士の見守り体制づくりを進めます。 重点取組地区 (地区部会エリア) ○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○草野地区部会 ○緑が丘地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○小中台西地区部会	1 7
(2)	地域でのボラン ティア活動の 推進	⑤	<b>福祉活動の中核となれる人材の発掘・育成</b> 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会、スポーツ振興会等、各種団体がイベントなどの地域活動を実施する際、相互に連携・協力し、声かけや広報紙などを通じて地域活動協力者の確保に努めます。 ・地区部会が地域の各種活動団体や千葉市ことぶき大学校等と連携・協力し、福祉活動推進員や地域の活動協力者の確保に努めます。 重点取組地区 (地区部会エリア) ○稲丘地区部会	7
		⑥	<b>地域での福祉教育の普及・啓発</b> 《活動事例》 ・地区部会が学校と連携・協力し、児童・生徒が地域でボランティアとして参加できる機会を設けるなど、福祉のこころの醸成を図ります。 ・地区部会が地域住民に対して、ボランティア講座等を通じて福祉意識の向上や地域活動に関心をもってもらえるよう福祉教育の普及・啓発を図ります。 重点取組地区 (地区部会エリア) ○小中台東地区部会 ○稲丘地区部会	8

《基本方針3》 「気軽に、楽しく、おしゃべりしたり、過ごせたり、活動したり」する、みんなの様々な居場所づくり

施策の方向性		具体的な取組み		取組み テーマ
(1)	誰もがぶらっと 寄ることができる 場づくり	⑦	<b>公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり</b> 《活動事例》 ・地区部会が町内自治会や福祉施設等と連携・協力し、町内自治会館や公民館、福祉施設等において、気軽集える居場所（サロンなど）を拡充します。 ・NPO法人や地区部会、民生委員児童委員協議会等の地域関係者が連携・協力し、子どもや幅広い世代が気軽集える子ども食堂やコミュニティカフェ等の居場所づくりに努めます。 ・地区部会や民生委員児童委員協議会、福祉施設等が連携・協力し、認知症の方や介護者の方が気軽集える居場所づくりに努めます。	② ③ ④ ⑨
			<b>重点取組地区</b> (地区部会エリア)	
(2)	地域でできる健康 づくりの推進	⑧	<b>健康づくりや介護予防の普及・啓発</b> 《活動事例》 ・地区部会が千葉市あんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、地域住民に対して健康づくりや介護予防の情報提供を講座やサロン活動などを通じて行い、普及啓発を図ります。 ・地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが相互に連携・協力し、いきいきサロンや地区運動会、グラウンドゴルフ、ラジオ体操などを実施し、健康増進を図ります。 ・シニアリーダーが、高齢者に対して介護予防の普及・啓発を図るため、「シニアリーダー体操」を実施します。	⑤
			<b>重点取組地区</b> (地区部会エリア)	

## 《基本方針4》 身近なところで必要な情報を得ることができる仕組みづくり

施策の方向性		具体的な取組み		取組み テーマ
(1)	身近なところで の情報提供と 相談	⑨	<b>地域の情報の収集と発信</b> 《活動事例》 ・ 地区部会や町内自治会、各種地域団体が相互に連携・協力し、会議や地域活動を通じて情報を共有するとともに、地域住民に対して、広報紙等を通じて地域に関する情報を発信します。 ・ 地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、千葉市あんしんケアセンターなどが連携・協力し、地域の情報を共有する場づくりに取り組みます。 ・ 地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、千葉市あんしんケアセンターなどが連携・協力し、地域住民に対してアンケート調査等を実施するなど、地域のニーズ把握に努めます。	10
			<b>重点取組地区 (地区部会エリア)</b> ○小中台東地区部会 ○稲丘地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○弥生地区部会	
(1)	身近なところで の情報提供と 相談	⑩	<b>身近な地域の相談相手の確保</b> 《活動事例》 ・ 地区部会や町内自治会が、千葉市あんしんケアセンターと連携し、町内自治会館等において、介護等について気軽に相談できる出張相談会を実施するなど、相談支援体制づくりに努めます。 ・ 地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会など、各種団体が様々な活動を通じて地域住民と顔なじみの関係を築き、身近な相談相手となる関係づくりに努めます。	10
			<b>重点取組地区 (地区部会エリア)</b> ○稲丘地区部会	

## 《基本方針5》 日頃からの緊急時に備えた取組み

施策の方向性		具体的な取組み		取組み テーマ
(1)	災害時などの支 援体制の強化	⑪	<b>いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催</b> 《活動事例》 ・ 町内自治会や自主防災会、避難所運営委員会等が、千葉市と連携・協力し、地域住民に対して、防災・避難訓練や防災講座を実施するなど、災害時に迅速な対応ができるよう支援体制の充実を図ります。 ・ 地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等が連携・協力し、「安心カード」や「緊急医療情報キット」を地域住民に配布するなど、災害時を含めた緊急時に迅速な対応ができる支援体制づくりを図ります。 ・ 町内自治会が千葉市と避難行動要支援者名簿の協定を結ぶなど、要支援者に対して災害時に迅速な対応ができる支援体制づくりに努めます。	6
			<b>重点取組地区 (地区部会エリア)</b> ○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会	

施策の方向性		具体的な取組み		取組みテーマ
(2)	地域でできる防犯の取組み	⑫	<b>地域住民を地域で守る取組み</b> 《活動事例》 ・青少年育成委員会や町内自治会、学校、商店等が連携・協力し、地域住民に対して「学校セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」の協力者の確保に努めるなど、地域の防犯体制の充実を図ります。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、警察等が連携・協力し、防犯パトロールを通じて見守りネットワークを構築するなど、住民同士による防犯体制の充実を図ります。 ・地区部会や町内自治会等が、行政等の出前講座などを活用し、「特殊詐欺（振り込み詐欺など）」や「悪質商法」、「不審者対策」等の講座を行い、住民一人ひとりの防犯意識の向上を図ります。	⑥
			重点取組地区 (地区部会エリア)	

※ 「重点取組地区（地区部会エリア）」とは、千葉市社会福祉協議会地区部会の活動対象区域（おおむね中学校区域）をいいます。

※ 「支え合いのまち千葉 推進計画」では、共助に関する取組みを下記の10のテーマに分類しています。計画第7章において、それぞれのテーマごとに、地域（区計画）、市社協、市の取組みを関連付けて整理しています。

【取組みテーマ】

- ① 見守りの仕組みづくり   ② 高齢者を支える仕組みづくり   ③ 障害者を支える仕組みづくり
- ④ こどもと子育てを支援する仕組みづくり   ⑤ 健康づくり   ⑥ 防犯・防災に対する取組み
- ⑦ 担い手の拡大とボランティア活動の促進   ⑧ 福祉教育・啓発   ⑨ 地域のつながりづくり
- ⑩ 相談支援体制と情報提供の充実

稲毛保健福祉センター高齡障害支援課



〒263-8550 千葉市稲毛区穴川 4-12-4  
 TEL 043-284-6141 FAX 043-284-6193  
 電子メール koreishogai.INA@city.chiba.lg.jp

千葉市保健福祉局地域福祉課



〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1  
 TEL 043-245-5158 FAX 043-245-5620  
 電子メール chiiki.HW@city.chiba.lg.jp



この事業には宝くじの収益金が活用されています。